

# 学生支援制度

## ■ 奨学金制度

明治大学では、大学院学生への経済的支援を充実させることで、優れた資質を有する大学院学生が研究活動に存分に専念出来る機会を保障します。それにより、大学院研究活動全体の一層の活性化を図っています。

### ■ 修士・博士前期課程(法学/商学/政治経済学/経営学/文学/理工学/農学/情報コミュニケーション/教養デザイン/先端数理学/国際日本学研究科)の奨学金

区分	名称	奨学金額等
給費	明治大学大学院研究奨励奨学金B	修士・博士前期課程に入学した者のうち、成績優秀者に所定の在学期間給付(2年次継続審査あり)。選考は研究科ごとに行われ、出願制ではありません。 前期課程授業料2分の1相当額 下記③を参照
貸費	日本学生支援機構第一種奨学金(無利子)	月額50,000円 または月額88,000円から選択
	日本学生支援機構第二種奨学金(有利子)	月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択
	明治大学大学院貸費奨学金(無利子)〈単年度申請〉 ※明治大学大学院貸費奨学金は、制度の変更を検討しています。	以下の3種類から選択 ①日本学生支援機構第一種奨学金年額相当額 1,056,000円 ②前期課程授業料相当額 文系 480,000円 理系(除農業経済) 720,000円 農業経済学専攻 648,000円 ③前期課程授業料2分の1相当額 文系 240,000円 理系(除農業経済) 360,000円 農業経済学専攻 324,000円

### ■ 博士後期課程(法学/商学/政治経済学/経営学/文学/理工学/農学/情報コミュニケーション/教養デザイン/国際日本学/グローバル・ガバナンス研究科)の奨学金

区分	名称	奨学金額等
給費	明治大学大学院研究奨励奨学金A	博士後期課程に入学した者のうち、成績優秀者に対して所定の在学期間給付(2、3年次継続審査あり)。選考は研究科ごとに行われ、出願制ではありません。 後期課程授業料2分の1相当額 下記③を参照
貸費	日本学生支援機構第一種奨学金(無利子)	月額80,000円 または月額122,000円から選択
	日本学生支援機構第二種奨学金(有利子)	月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択
	明治大学大学院貸費奨学金(無利子)〈単年度申請〉 ※明治大学大学院貸費奨学金は、制度の変更を検討しています。	以下の3種類から選択 ①日本学生支援機構第一種奨学金年額相当額 1,464,000円 ②後期課程授業料相当額 文系 520,000円 理系(除農業経済) 780,000円 農業経済学専攻 702,000円 ③後期課程授業料2分の1相当額 文系 260,000円 理系(除農業経済) 390,000円 農業経済学専攻 351,000円

### ■ その他の奨学金

区分	名称	奨学金額等
給費	明治大学私費外国人留学生奨学金(第一種奨学金)	月額50,000円(6ヶ月以内) 選考の上給付
	民間団体・地方公共団体の各種奨学金	募集の都度、各キャンパス奨学金掲示板で周知
その他	明治大学・銀行提携「教育ローン」	本学学生を対象とした銀行提携「教育ローン」です。 銀行の審査によっては融資が受けられない場合があります。

以上の奨学金は、2015年10月末現在のものです。以後、制度の変更や新設などを実施する場合は、明治大学ホームページおよび各種入学試験要項に記載します。

## 研究論文集

大学院学生の研究成果を発表するための貴重な場として、各研究科別に法学研究論集、商学研究論集、政治学研究論集、経済学研究論集、経営学研究論集、文学研究論集、情報コミュニケーション研究論集、教養デザイン研究論集、国際日本学研究論集、理工学研究論集、農学研究論集を毎年2回発行し、学内各機関を始め、全国の大学・研究機関などに配布しています。各研究論集に論文が掲載されるためには、予備登録を行った上で論文を提出し、指導教員を含む審査委員による審査を受けなければなりません。この研究論集掲載に向けて論文を執筆することは、将来、博士論文を執筆するための準備となるでしょう。

## 日本学術振興会特別研究員制度

日本学術振興会の「特別研究員」制度は優れた若手研究者に、その研究生活の初期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題などを選びながら研究に専念する機会を与えることにより、わが国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的として、大学院博士後期課程在学者および大学院博士後期課程修了者などで、優れた研究能力を有し、大学その他の研究機関で研究に専念することを希望する者を「特別研究員」に採用し、研究奨励金を支給する制度です。

この「特別研究員」に採用されることは、自立した研究者としての第一歩となり、将来に向けたキャリアパスの観点からも重要な意味を持っています。優れた研究者を育成することは、教育研究機関としての大学院の責務であり、本大学院は、より多くの大学院学生の皆さんが「特別研究員」に採用されるよう、説明会の開催などを通じて支援を行っています。

## ■ RA・TA・助手・学会発表助成・コピーカード助成制度

### RA・TA制度

明治大学では、大学院博士前期課程／修士課程・博士後期課程の大学院学生のために、研究補助業務従事者RA (Research Assistant) および教育補助業務従事者TA (Teaching Assistant) 制度を発足し、募集を行っています。

TA制度とは学部・大学院の教育補助業務に一定期間従事するもので、学部や大学院教育におけるきめ細かい指導の実現と、大学院学生が将来教員や研究者になるために、トレーニングの機会を提供することを目的とした制度です。RA制度は、研究支援体制の充実・強化を図り、若手研究者としての研究遂行能力を育成することを目的としたもので、大学院学生にとっては自らの研究活動の水準を高める良い機会となっています。

博士前期課程・修士課程在籍者は学部のTA、博士後期課程在籍者は学部・大学院のTAおよびRAへの応募資格があり、いずれも対象が大学院学生であることを考慮して、業務内容が研究活動に支障のないよう十分配慮されています。

大学院学生の中には、経済的に不安定なため、進学を断念せざるを得なかったり、学業に専念出来なくなったりする人が少なくありません。明治大学では、この制度を通じて一定の報酬が受けられ、経済的な支援を得ることで、大学院学生がより研究に専念出来る環境を得られることでしょう。そして、豊富な研究業績や企業での実務経験を持った教員から直接、教育や研究手法を学ぶことが出来る本制度は、明治大学の誇れる特色の一つです。

### 助手制度

明治大学では、博士後期課程在籍者を対象として、助手制度を実施しています。この制度は、研究者の養成および博士学位の取得促進を主な目的として、発足した制度です。

専攻分野研究などに専念するほか、学部の教育補助業務に一定時間従事することが求められますが、任期が限られた制度であること、および対象が大学院学生であることを考慮し、業務内容が研究活動に支障のないよう十分配慮されています。

また、採用中は原則として奨学金は受給出来ませんが、専任教員に準じた給与が支給されることにより、奨学金受給時より経済的に安定した処遇を受けることが出来ます。

### 学会発表助成制度

日本学術会議に登録されている学会および海外で開催される国際学会で発表を行う大学院学生に対して、交通費・発表参加登録料の費用の一部を助成する制度があります。助成回数は1名につき年2回で、内1回は海外における学会参加への助成も受けることが出来ます。毎年学会に出席する大学院学生の多くがこの助成制度を利用し、国内はもとより海外で自分の研究成果の発表を行っています。

助成金の種類		国内	国外
交通費	(助成上限額)	25,000円	70,000円
発表参加登録料	(助成上限額)	20,000円	20,000円

### コピーカード助成制度

本大学院では、大学院学生の研究活動に対する助成の一環として、在籍する全大学院学生を対象に、次のとおりコピーカードを配付しています。

コピーカードの種類		コピーカード度数	配付時期
博士後期課程	研究助成用	800度数	毎年度初めに配付
博士前期・修士課程	研究助成用	500度数	毎年度初めに配付

大学院で研究する大学院学生の最終目的である学位論文を執筆するに当たって、次のとおりコピーカードの助成を行っています。

コピーカードの種類		コピーカード度数	配付時期
博士学位請求論文作成助成用		1000度数	論文受理決定後に配付
修士学位請求論文作成助成用 (修士論文に代わる特定の課題についての研究の成果を含む)		200度数	論文予備登録後に配付